

2019 picnic Marimba ensemble concert

佐藤 須美子(広島文化学園大学学芸学部音楽学科特任教授)

1999年から始まったピクニックコンサートは今回で21回となりました。広島市南区の有志の方々が“ピクニック”という応援グループを作ってください、南区民文化センタースタジオにおいて続けてまいりました。今回、初めて本学の音楽講義室にて行いました。地元長東の方々がたくさんご来場ください、学生たちの工夫を凝らした楽しいマリンバアンサンブルを展開することができました。演奏会の終わりにはピクニック会長の木原和子様よりご挨拶をいただきました。ありがとうございました。



吉木 貴治(4年/広島県立賀茂高等学校出身)

今年もピクニックマリンバアンサンブルコンサートにご来場ください、誠にありがとうございます。たくさんの方の支えがあってこそ、私たちは音楽を勉強、演奏できているのだと強く感じています。後輩や仲間達と最後まで楽しんで演奏することができました。卒業後、私は音楽大学の大学院へ進学します。さらに打楽器演奏を深めるために勉強いたします。感謝の心を忘れず、これからも頑張ります。

下井 愛里菜(4年/広島市立美鈴が丘高等学校出身)

今回が最後の「ピクニック」で、大学生活最後の打楽器アンサンブル演奏会でした。楽しく演奏できてよかったと思います。仲の良い同級生と頼もしい後輩に恵まれていることをしみじみ感じました。これからも途絶えることなくこの演奏会を続けていってほしいです。今までありがとうございました。



樋口 莉奈(1年/広島県・広陵高等学校出身)

初めてマリンバアンサンブルコンサート“ピクニック”に参加させていただきました。去年までは聴衆として客席側でしたが、演奏する側としてステージに立てたことは、とても嬉しいことでした。4年生の先輩方と演奏できる機会は今回のピクニックが最後なので、寂しく思いつつも、笑顔で終わることができて良かったです。今後は先輩方に教わったことを引き継ぎ、活かしていきながら、少しずつ成長していきたいと強く思った演奏会でした。

安部 柚希 (1年 / 広島修道大学附属鈴峯女子高等学校出身)

4年生の先輩たちと一緒に演奏できる大学内での最後のコンサートとして、演奏や演出を楽しむことができたので良かったです。運営・演奏ともにまだ至らない点が多く、先輩たちに助けていただかなければできなかった部分もありましたので、これから多くの経験を積み、様々な場面に対応できる力をつけていきたいと思いました。



木村 菜都 (1年 / 広島市立美鈴が丘高等学校出身)

初めての出演でした。たくさんの方々にお越しいただき、とても楽しく演奏をすることができました。改めて人前で演奏し、それを聴いていただける喜びと、打楽器を演奏するやりがいを感じることができました。どのようなプログラムを来てくださる皆さんが喜ばれるかを考える機会にもなりました。そして、先輩方との最後の演奏でもあり、思い出に残る演奏会となりました。これからより多くの方々に聴きに來てもらえるような演奏ができるように、日々の練習を頑張っていき、来年も頑張ろうと思います。

和田 茜 (4年 / 広島市立美鈴が丘高等学校出身)

今回が最後のピクニックとなりました。打楽器アンサンブルとしての本番は最後となりましたが、4年間学んできたことを発揮することができたのではないかと感じております。後輩の成長も感じられる良い演奏会となりました。卒業してもこれまで学んできたことを活かし、頑張っていきます。ご来場ありがとうございました！



吉木 政人 (4年 / 広島県立賀茂高等学校出身)

この度がピクニック最後の出演でした。今回から会場が大学になりましたが、それでも多くの方がご来場くださり、大変嬉しく思いました。親しみやすい曲から、演出、ちょっとした劇まで、楽しんで聴いていただけたかなと思います。出演したメンバーも、いつもよりいい表情で、この演奏会を楽しんでいたように思いました。この演奏会に参加できなくなるのは非常に寂しいですが、もっと多くの方々に知っていただき、より楽しんでいただける演奏会に成長することを願って、今後は応援していきたいと思っています。4年間ありがとうございました。